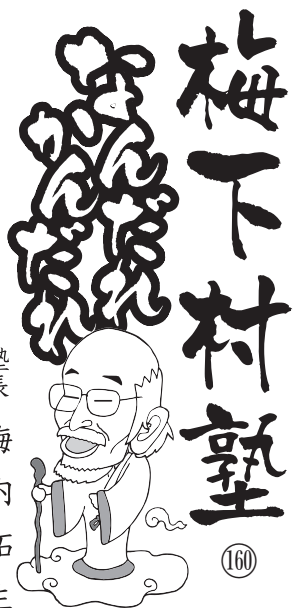


「森と水と命の惑星」国際会議

～地域と世界の心と魂を詠む～



塾長 梅内 拓生

(歴史と民話)

ボランテシアで老人病院で朗読劇を続けている60代の婦人のボランテシア劇団仲間との共演で「鶴の恩返し」の朗読劇を見て深く感動した。

「鶴の恩返し」の話の筋は知っていたが、朗読劇を聴いているうちに、物語にひきこまれ、涙を流して聴いていた。命を救ってくれたことへの恩に自分の羽をもぎ取って美しい布を織って恩返しをする物語である。

鶴が機織りをのぞいてはいけないという約束を破られて、鶴は悲しい別れをしなければならなかった。激変している世界の自然環境、政治経済状況、隣国の押し付け宣伝外交、告げ口外交、テロ外交をみるにつけ、21

世紀の人類は(歴史と

民話)の知恵を学び、新しい道の創造に進まねばならない。

盛町では五年祭が始まっている。そこには

(歴史と民話)の知恵が息づいている。3・

11の東日本大震災を忍耐と規律をもって対応して、世界の人々の感動をよんだ気仙地方の(歴史と民話)のよみがえりが期待される。

4月25日 第5面
東海文芸 高田短歌会
(4月)

(スフィンクスの台座)

戸田テル子
きのうより足裏の土やはらかにくよもぎの群生
枯れ枝の下に

スフィンクスの台座のごとき盛り土の下に眠れる我が家の跡地

スフィンクスは深い地下の冥界に通じております。よもぎが群生する盛土の下にはわが家の歴史が息づいておられますね！

返句

盛土吹く 風や昔の我が家かな

(春の広田湾)

大和田勝代

姿なき鶯鳴きて遅き春
梅の花咲き彼岸も過ぎ

広田湾に恵みもたらす
気仙川養殖棚に養分運ぶ

恵み深い春の広田湾
は穏やかですね！まさに蕪村の春の海ですね！津波の到来への用意は怠らずに！この緊張感とのどかな海とのバランスの妙味ですね！

返句

春の海 鮭はのぼって
気仙川

金野義雄
春近しりんご講習に白髪のはものどもが顔揃へたり

カモシカの親子よく肥えカメラ見て猛く駆け上る子離れ近し

子の親離れ、親の子離れは動物の習いです。近隣の独り善がりな国々にも、押し付け、告げ口から離れてうまく付き合つてを教える時が来ておりますね！

返句

親離れ 子離れ学ぶ
歴史から

(とわずがたり)

ノリ 昔から春をかたるいろいろなことばがあるね！夏目漱石は「春は眠くなる。猫は鼠を捕る事を忘れ、人間は借金のある事を忘れる」

オサム 隣の国々は自分の罪を忘れ、他人になすりつける！
アツシ 隣の国々だけでなく他の大国もおなじだね！

ノリ 気仙地方の春の海は蕪村の句と漱石の草枕の俳句の世界とつながっているなあ！
オサム この心と魂のよみがえりをしないとけないなあ！